長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● **「経年劣化とは」**
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　日本工業規格 JIS C 9921-2 による

環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzまたは / および60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の工事説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間[a)] 台所　2410時間/年 居室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴室　1671時間/年	

注[a)] 常時換気（24時間連続換気）のものは、8760時間/年とする。

アフターサービス よくお読みください

●修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店または工事店にお申し付けください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 キョーワナスタ

本社	〒103-0006	東京都中央区日本橋富沢町12番16号(ナスタビル2F)	Tel 03-3660-1815(代)	Fax 03-3660-1825
東京支店	〒103-0006	東京都中央区日本橋富沢町12番16号(ナスタビル2F)	Tel 03-3660-1815(代)	Fax 03-3660-1825
大阪支店	〒560-0035	大阪府豊中市箕輪3丁目7番20号	Tel 06-6858-5671(代)	Fax 06-6858-5687
札幌支店	〒060-0906	札幌市東区北六条東4丁目(卸センター8号館)	Tel 011-741-2250(代)	Fax 011-742-6083
仙台支店	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡3丁目4番1号(アゼリアヒルズ10F)	Tel 022-207-4700(代)	Fax 022-207-4710
北関東支店	〒361-0021	埼玉県行田市富士見町1丁目17番地	Tel 048-553-1751(代)	Fax 048-554-3785
横浜支店	〒222-0033	横浜市港北区新横浜2丁目3番4号(クレシェンドビル9F)	Tel 045-474-0631(代)	Fax 045-474-6760
名古屋支店	〒460-0007	名古屋市中区新栄2丁目2番1号(イノフィスビル6F)	Tel 052-242-2272(代)	Fax 052-241-5769
北陸営業所	〒933-0874	富山県高岡市京田19番地(田中ビルII1F)	Tel 0766-21-7100(代)	Fax 0766-21-7311
広島支店	〒730-0043	広島市中区富士見町16番22号(ロアール富士見町8F)	Tel 082-249-4651(代)	Fax 082-246-9142
福岡支店	〒812-0012	福岡市博多区博多駅中央街8番27号(第16岡部ビル11F)	Tel 092-472-1088(代)	Fax 092-473-1007

http://www.nasta.co.jp/　E-mail info@nasta.co.jp

08PT74020EKYW-P0603-5012

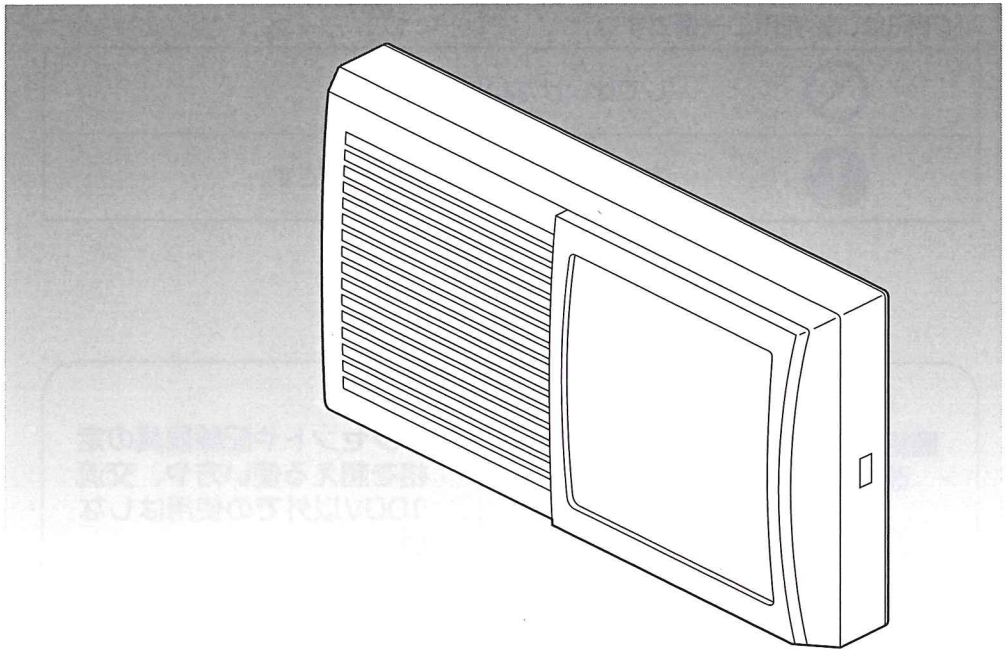
NASTA ナスタ 換気ユニット 取扱説明書

NASTA

ナスタ 換気ユニット

品番 KS-VTE100

工事説明書別添付 取扱説明書



このたびは キョーワナスタ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」(2〜4ページ)を必ずお読みください。
●取扱説明書は大切に保管してください。

・この取扱説明書に記載されていない方法で使用され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

もくじ

安全上のご注意 ……2〜4
各部の名前 ……5
はずしかた/取り付けかた ……5〜6
お手入れのしかた ……7
仕様 ……8
アフターサービス ……裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■絶対に分解したり修理・改造しない



分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

●修理はお買い上げの販売店・工事店へご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■水につけたり、水や洗剤をかけたりしない（モーター、スイッチなどの電気部品）



水ぬれ禁止

ショートや感電のおそれがあります。

■ガス漏れのときは換気扇のスイッチを入れたり切ったりしない



禁止

スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。

MEMO

MEMO

⚠警告

■電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない）


禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■電源プラグのホコリなどは定期的にふき取る



電源プラグにホコリなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源プラグをぬれ手で抜き差ししない


ぬれ手禁止

感電のおそれがあります。

■お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く


電源プラグを抜く

感電やけがをすることがあります。

⚠注意

■本体は、しっかり取り付いているか、確認する



落下により、けがをするおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける



落下により、けがをするおそれがあります。

安全上のご注意（続き）

⚠注意

■長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

■電源コードを引っ張ってプラグを抜かない



禁止

プラグを持って抜かないとコードが傷み、ショートや発火することがあります。

■運転中は羽根の中に指や物を入れない



接触禁止

けがのおそれがあります。

■お手入れの際は、ゴム手袋を使用する



板金・樹脂部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

■設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する



けがをするおそれがあります。

■使用を終了した製品は放置せず、撤去する



万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。

お願い

■高温になる場所（周囲温度40℃以上）で使わないでください。

製品の変形やモーターの寿命を縮めます。

■台所など、油煙の発生する場所では使わないでください。

ルーバーなどの破損の原因となります。

■高圧スチームで洗浄しないでください。

故障の原因となります。

■給気口があるか、ご確認ください。

効果的な換気ができません。

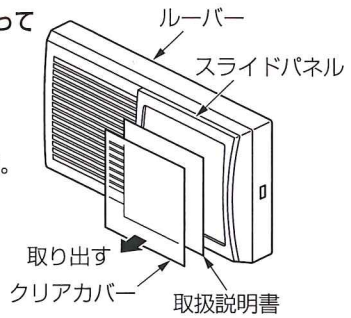
MEMO

パネルの使いかた

スライドパネルには取扱説明書が入れてありますが、お好みによってパソコンなどで作成した写真や絵などを入れることができます。

（はずしかた）
①クリアカバー中央部をつまみあげ、取扱説明書を出す。

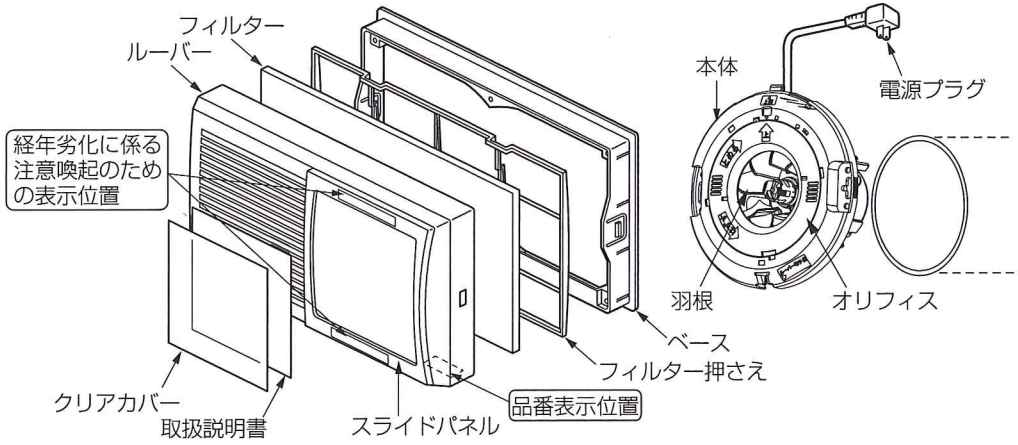
（取り付けかた）
①お好みの写真や絵（縦144mm×横109mm）を差し込む。
②スライドパネルの上のスキマにクリアカバーを差し込む。
③スライドパネルの下のスキマにクリアカバーを差し込む。



仕様

定　格	品　番	消費電力(W)	換気風量(m³/h)	騒音(dB)	質量(kg)
単相100V 50/60Hz	KS-VTE100	2.1/2.4	40/40	29.5/29.5	0.85

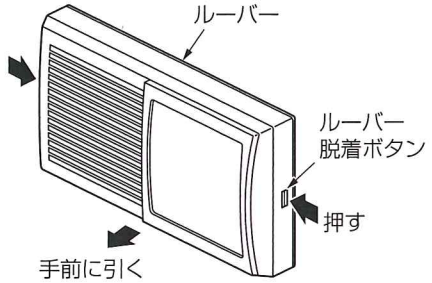
上記仕様は静圧 0Pa（パスカル）時の値です。
静圧 0Pa（パスカル）とは、換気ユニットにおよぼす圧力が「0（ゼロ）」の状態を示します。



はずしかた

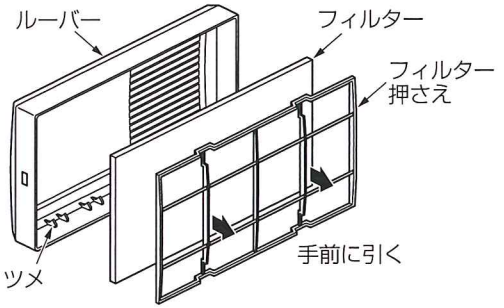
■ルーバー

左右のルーバー脱着ボタンを指先で押し込みながら、ルーバーを手前にひいてはずす。



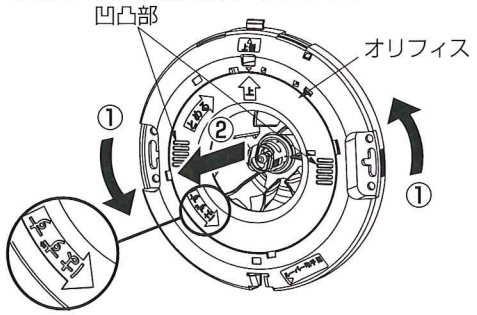
■フィルター

フィルター押さえを手前に引いてはずす。



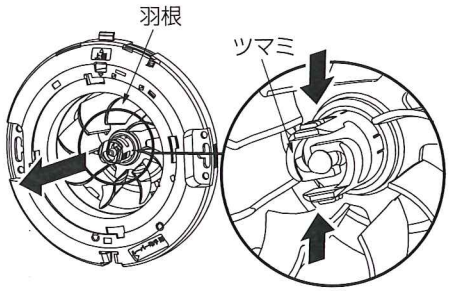
■オリフィス

左右の凹凸に指を当て、「はずす」の方向にまわして手前に引いてはずす。



■羽根

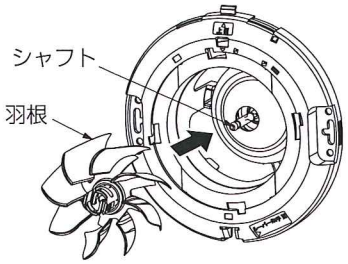
ツマミを持ち、手前に引いてはずす。



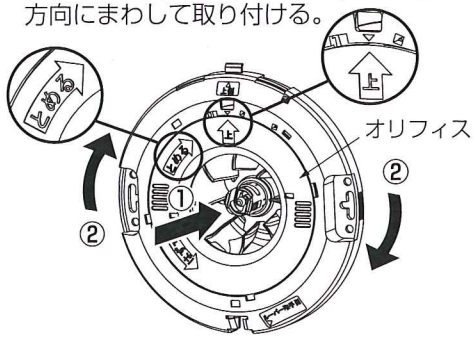
お手入れのしかた

取り付けかた

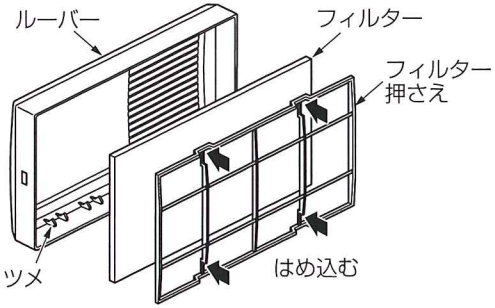
■羽根
カチッと音がするまで押し込む。



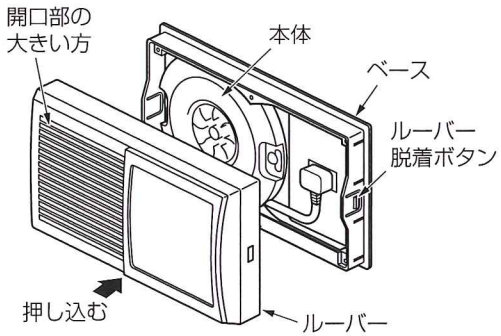
■オリフィス
オリフィスの「上側」表示と本体の▽マークを合わせるように、「とめる」の方向にまわして取り付ける。



■フィルター
フィルターをルーバー裏に入れ、ツメにフィルター押さえを確実にはめ込む。



■ルーバー
ルーバーをカチッと音がするまで確実に押し込む。このとき本体正面にルーバー開口部の大きい方が重なるように設置する。



お願い

■高い所での作業となりますので足場には十分お気を付けください。
■お手入れ後、熱による乾燥はしないでください。
変形、変質の原因となります。
■台所用中性洗剤をお使いください。
住宅用、家具用アルカリ性合成洗剤などは樹脂部の変色、破損のおそれがあります。

禁止

下記のようなものなどは使用しないでください。



汚れが目立ったら ルーバー表面をからぶき、または掃除機でほこりを吸い取ってください。

1か月に1回程度 下記の手順に従って、内部のお手入れをしてください。

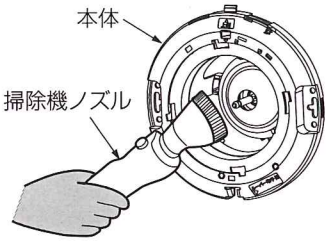
汚れをとる

■ルーバー・オリフィス・羽根
台所用中性洗剤をとかしたぬるま湯に浸し、水洗いした後、からぶきをして水けをよくふきとってください。

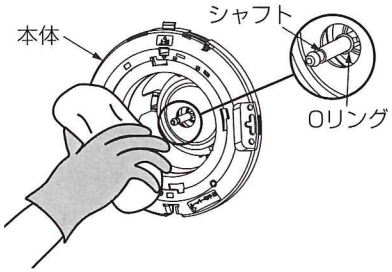




■本体
①本体を取り付けたまま、ほこりを小さなブラシでおとした後、掃除機で吸い取り、



②台所用中性洗剤を浸した布でふきとった後、からぶきしてください。



■フィルター
ホコリを掃除機で吸い取り、2～3か月に一度水洗いしてください。
痛んだり、汚れが落ちないときは新品(KS-VTE100F)と交換してください。
フィルターは弊社ホームページでお買い求めください。

